



いつでも省エネ "エアコン"

24

■エアコンだって使い方次第■

段階的冷暖房でエアコンの負荷も軽く！

最近ではほぼ一年中、頻繁に出番のあるエアコン。W数の大きな製品なので、ブレーカーが落ちない？電気代は？と気になる機器ですね。

実は、私もそうでした。思い切って契約Aを見直してぎりぎりの容量にしていたので、エアコンを使う時は正直ハラハラドキドキでした。

実際、ブレーカーが落ちることも。夏の冷房時、エアコンの設定温度を常に28度にしていたのですが、室温が33度など高い時に、エアコンが一気に冷やそうと頑張っただけで負荷がかかってしまったのです。

そこで、段階的に冷房してみました。はじめはエアコンの設定温度をその時の室温より3度下げる程度とします。30分程でその温度になってから、まだ冷房が必要ならもう1, 2度下げるのです。この方法だと、扇風機等の微風があれば29度でも快適に感じることもあります。

暖房も同様に、一気に20度にするのではなく、17度、19度、と段階的にエアコン暖房を入れます。我が家では、この方法でブレーカーが落ちることなく、冷やしすぎ、暖め過ぎも防ぐことができました。

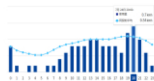
(NM)



ご自宅の毎時、毎日、毎月の

電力消費量を電力購入会社のWebページ等で確認してみましょう





電力消費量グラフ

いつでも省エネ“契約A”

25

■電気を“平ら”に使う!■

契約A (アンペア) を見直すのもあり

契約Aは、一度に使える電気の量の上限のこと。契約10Aにつき、W(ワット)にして1000Wです。例えば、40A契約の我が家は、4000Wまで使えます。実際にはどのくらい使っているのか、契約している電力会社のWebページで、1時間単位の値を確認しました。(30分単位で表示する会社もあります。)

我が家の過去2年分を見ると、使用量が多くグラフに山ができるのは、冬の夕方や夏の昼間、エアコンを使っている時。この山を小さくしてみよう、と考えました。

エアコンの段階的溫度設定 (【24】参照) はもちろん、「時間をずらした電気の使い方」を意識しました。

料理はエアコンが稼働していない時間帯にしたり、熱を使わない調理 (【12】 【13】参照) にします。ポータブル照明や掃除機等の充電もできるだけ他の電気製品が動いていない時間にします等です。

その結果、何と20A 契約に変更でき、基本料金は年間7000円位安くなり、電気の使用量も減りました。

多くの方が平らに使うことで、発電所の建設や運転も見直すことができ、大きな意味での省エネにもなります。

(NM)

ご自宅の毎時、毎日、毎月の



電力消費量を電力購入会社のWebページ等で確認してみましょう

